

施設概要

H25.1

施設の名称	群馬県立土屋文明記念文学館		
所管部局・課	生活文化部文化振興課	現在の運営方法	■直営 □指定管理者

1 施設の設置根拠(法律、条例等)

社会教育法、博物館法、群馬県立土屋文明記念文学館の設置及び管理に関する条例

2 施設の設置目的

・土屋文明の業績を記念し、文学に関する県民の理解を深め、もって教育、学術及び文化の発展に寄与する。

3 施設の概要

設置年月日	平成8年7月11日(開館7月11日)	区分	金額
敷地面積(所有者)	2,465.61㎡(高崎市)	大人	200円 (団体160円)
主な施設(床面積、階数等)	常設展示室、企画展示室、研修室、収蔵庫、書庫等(延床3,171㎡、2階建)	大高生	100円 (団体80円)
建設費	2,731,292千円	中学生以下	無料
備考	—	障害者・介護者	無料

※企画展は大人1000円以下で個別設定。

4 管理運営コストの状況

(千円)

区分	24年度(2月補正予算)	23年度(決算額)	22年度(決算額)	21年度(決算額)
歳入(①)	3,783	3,215	4,841	3,317
観覧料	1,830	1,541	2,437	1,757
施設使用料	568	530	424	224
その他収入	1,385	1,144	1,980	1,336
歳出(②)	156,020	154,759	151,372	161,561
常勤職員	84,222	81,408	83,961	89,150
非常勤職員	18,253	19,018	19,002	22,065
管理・事業費	53,545	54,333	48,409	50,346
歳入・歳出の差額(①-②)	▲ 152,237	▲ 151,544	▲ 146,531	▲ 158,244
歳入・歳出の主な増減理由	<p>・平成22年度は、企画展(茨木のり子展)で多くの観覧者・図録販売等があり、歳入増となった。また、職員の定数減により歳出減となった。</p> <p>・平成23年度は、群馬DC開催に伴う企画展予算の充実、学校連携など教育普及事業の拡充、公用車の更新のため、歳出増となった。</p>			

5 職員の状況(各年度4月1日現在)

(人)

	24年度	23年度	22年度	21年度
常勤職員	10	10	9	10
非常勤職員	8	8	8	9
合計	18	18	17	19

6 施設利用の状況

区 分		24年度 (H25.1.31現在)	23年度	22年度	21年度
年間利用者総数(人)		30,193	33,840	28,744	22,624
内 訳	有料利用者数(人)	4,878	4,318	6,991	5,127
	無料利用者数(人)	25,315	29,522	21,753	17,497
利用者の主な増減理由		年間利用者数は、移動展、企画展関連イベント、各種教育普及活動等に積極的に取り組んだ結果、平成20年度以降、毎年増加している。			